

21世紀東通村環境デザイン検討委員会

第1回～第3回を開催しました

【東通村総合環境プラン】

村民の感性を満ち、心を豊かにする美しい自然環境と景観及び潤いのある良好な生活環境を築くため、村民、企業、行政が共に行動し、自然環境の保全・保護並びに利活用に考慮した新たな村づくりを進め、次世代に引き継ぐことを目的に総合環境プランを策定します。



◆第1回検討委員会「ふるさと東通村に誇りをもつ」

平成22年6月9日、野牛川レストハウスにおいて、第1回21世紀環境デザイン検討委員会が開催されました。



片崎山の眺望点から眺める様子

第1回検討委員会では、平成21年度に実施したアンケート、ワークショップ等の意識調査やシンポジウムでの助言を活かし、「東通村に誇りをもとう・好きになろう・知ってもらおう」をスローガンに実際に見る・歩く・触れるを体感すべく、片崎山、桑畑山を調査しました。この時期の片崎山はちょうど山ツツジが満開で辺り一面が赤く染まり、カタクリやヤマオダマキ

などの植物も確認することができました。また、山頂では北は津軽海峡、牧場、桑畑山が一望でき、東側に太平洋、大沼、砂丘を見渡すことができました。



桑畑山の眺望点から眺める様子

桑畑山においては、風車を見下ろし、津軽海峡やむつ湾まで見渡せる大パノラマが広がり、植物ではマイヅルソウ、ヤマツツジ等が咲いていました。参加した委員からは、昔の山の状況や、盗掘による被害子供の頃の遠足などの貴重なお話を拝見することができました。

◆第2回検討委員会「東通村環境プロモーション」

平成22年8月4日、東通村役場4階大会議室において第2回検討委員会が開催されました。



第2回検討委員会の様子

今回はアドバイザーとして、濱石基睦（下北自然ボランティアガイド）をお招きし、桑畑山、片崎山、尻屋崎の山野草、絶滅危惧種についてお話を伺いました。

田畑、牧場等について意見が出されました。

◆第3回検討委員会「美しき故郷を目指して」

平成22年10月13日、東通村立診療所医師住宅研修医棟において第3回検討委員会が開催されました。

第3回検討委員会では、「東通村の環境における理想の姿」百項目を挙げ、それぞれ意見を出し合いました。また東通村総合環境プランへ盛り込む内容について話し合いました。



第3回検討委員会の様子

例としては、アツモリソウ、クシロチドリ、イワカラマツ、エソシモツケなどが挙げられ、保護すべき植物として盗掘対策等について話し合いました。また環境における村の理想の姿についても議論し、山林、河川、海浜、沼湿地、

■お問い合わせ
経営企画課
環境デザイン担当

TEL 27-2111

(内線 241、242)